
ひとだま【夏のホラー2011】

ロメル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひとだま【夏の水ラー2011】

【Nコード】

N6264V

【作者名】

ロメル

【あらすじ】

【夏の水ラー2011参加作品】400文字小説。

（前書き）

この話はフィクションではありません。実話です。

私はS県某市に住んでいます。家は小高い丘の上にある一戸建てです。

ごく普通のベットタウンを想像していただければ、大体合っていると思います。

あれはほんの数日前。

なろうで夏のホラーを執筆していて、一区切り付いたところで眠りにつきました。

寝るまでエアコンをつけていたので、比較的気温の高い夜だったと思います。

夜中にふと眼が覚め、トイレに行きたくなりました。

用を足して、トイレから出てふと窓の外に眼をやると……。

直径20センチほどのオレンジ色の光がすーっと音もなく通り過ぎていきました。

窓の位置と光の色から言って車のヘッドライトや隣家の明かりといった可能性はありません。

背筋が冷え、鳥肌が立ちました。呆然と立ち尽くす間に光は消えていました。

あれが人魂かどうかはわかりませんでした。とても怖い体験でした。

それ以来夜中にトイレに行くのが怖いです。

夏のホラーにネタを提供してくださった人魂様、どうか成仏してく

だ
さ
い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6264v/>

ひとだま【夏のホラー2011】

2011年10月6日15時49分発行